

第2回 兵庫県士会事業予算検討委員会 議事録

日時：2021年11月5日 19:00～

会場：zoomにより開催

参加者：岩田理事 正木理事 鮫島監事 山本副会長 木澤副会長

書記：梶家

『前回の会議で出た意見からの議題』

〈会計担当事務職員の雇用について〉

- ① 業務の範囲はどうなるのか
 - (ア) どういった業務を行ってもらえるのか
 - (イ) 業務内容を考えながら、雇用金額の検討が必要
- ② 雇用において長期的にどう考えていくのか
 - (ア) 終身雇用もしくは有期雇用とするのか
 - (イ) 昇給も含めて年収を考えていくのか
 - (ウ) 400万という金額を提示するのであれば、会計担当事務職員の継続雇用ではなく理学療法士を事務局員として採用し教育するというのはどうか

【議事内容】

1. 山本副会長からの資料提示

- ・会計担当者の業務内容の説明
- ・現在の雇用状況の説明
- ・現況と課題

各部、支部、委員会（32セクション）の会計業務は、個々の会計担当が行っており、出納業務や金融機関への出務など業務時間の合間、時間外での対応となり負担がかかっていた。

会計規則は定められているが、会計担当者としてその理解に関しては、習熟が必要で、会計処理のミス等も多く、四半期ごとの報告を行ってもらっているが会計報告や決算時の本部会計との齟齬が発生し、訂正処理に多大な労力が発生している。

統一した会計ソフトの導入の検討を行ったが、税理事務所との書式の整合性の問題で導入に至っていない。

- ・雇用に対する提案
- ・導入後の効果

○各会計担当者の負担軽減

○業務量、業務範囲

会計業務の処理、予算決算管理の効率向上

新規：未納・休会会員への働きかけ

新人理学療法士への呼びかけ

職能関連業務（政治家との連絡など）

議事録整理

・雇用金額の提案

雇用体系は、日本理学療法士協会の雇用、賃金規定に準じたものとする。

2. 雇用形態に対する意見交換

- ・ 5年後10年後を見据えた、昇給や退職手当について
- ・ 中期的な総務として理学療法士・事務職体制について
- ・ 派遣会社の利用について
- ・ DXの推進について
- ・ 士会収支と会員の理解と説明について

3. 会計事務所への業務委託についての意見交換

- ・ 会計事務所と業務委託について打ち合わせを実施する
- ・ 会計事務所の意見を踏まえて雇用形態を再度検討する

次回会議予定は、11月16日 19:00の予定